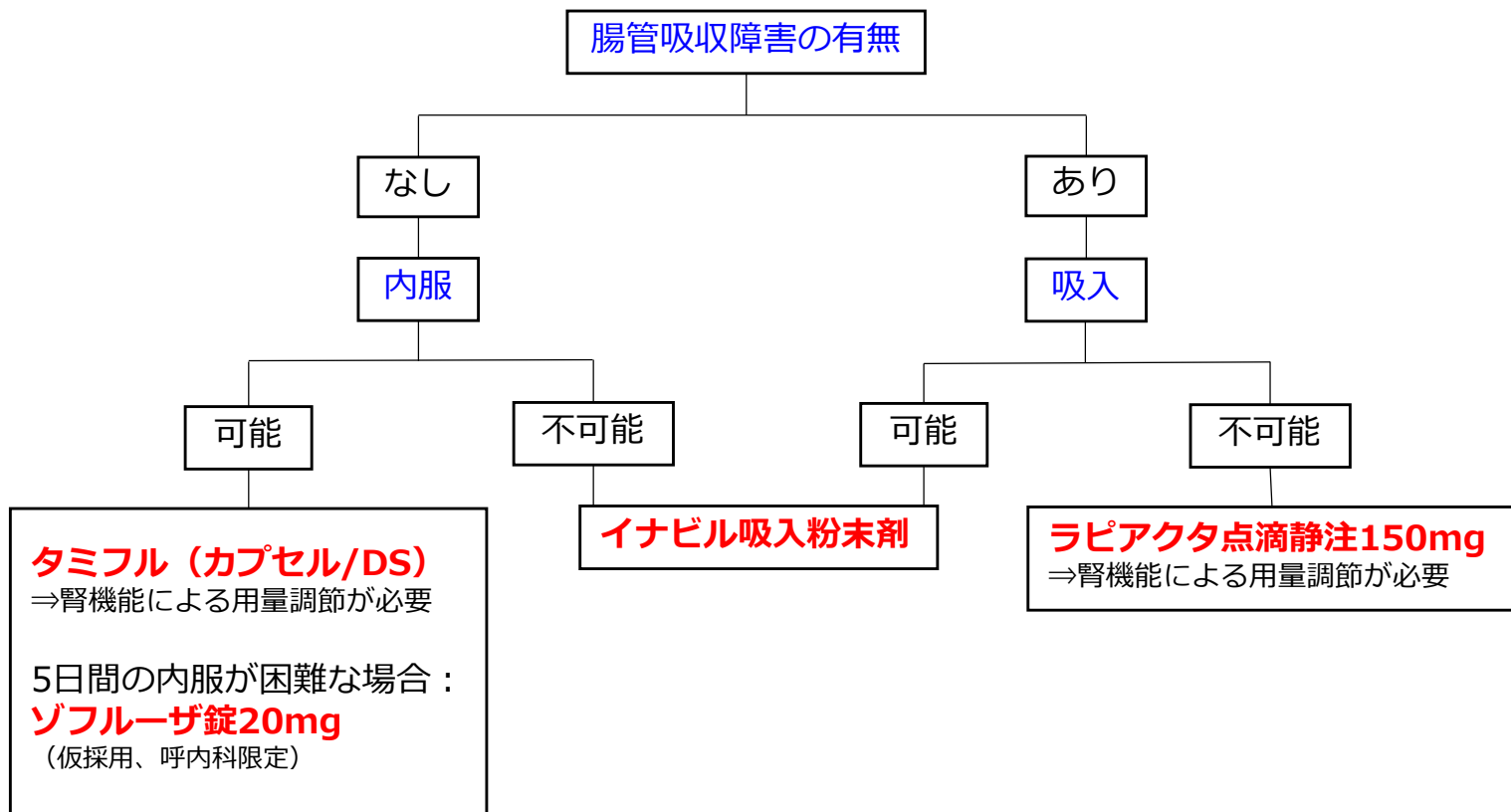


病院フォーミュラリ
インフルエンザウイルス薬（治療、成人）



- タミフル（カプセル/DS）を第1選択薬とする
- インフルエンザ様症状の発現から48時間以内に投与を開始する
（症状発現から 48 時間経過後に投与を開始した患者における有効性を裏付けるデータは得られていない）
- 重症患者で、内服、吸入が不可、確実な投与が求められる場合、ラピアクタを選択する
- 妊婦・授乳婦についてはタミフルが第1選択、イナビルが第2選択
（ゾフルーザ、ラピアクタについて安全性のデータなし、基本的に使用しない）

【参考】

商品名	一般名	1回量（投与間隔）					総薬剤費（※）
		CrCl > 50mL/min	CrCl 30~50mL/min	CrCl 10~30mL/min	CrCl <10mL/min	血液透析	
タミフル カプセル75	オセルタミビル	75mg (1 Cp) (1日2回) 5日分		75mg (1 Cp) (1日1回) 5日分	75mg (1 Cp) (1日1回) 1日分	1,723円	
タミフル ドライシロップ 3%						2,575円	
イナビル 吸入粉末剤20mg	ラニナミビル	40mg（単回吸入）				2,969.8円	
ゾフルーザ錠 20mg	バロキサビル	80kg未満：2錠（1日1回） 単回経口投与					4,877.6円
		80kg以上：4錠（1日1回） 単回経口投与					9,755.2円
ラピアクタ 点滴静注液 バイアル150mg	ペラミビル	300mg (1日1回) 単回投与	100mg (1日1回) 単回投与	50mg (1日1回) 単回投与	具体的には設定されてお らず、慎重に投与量を 調節	6,364円	
		重症化するおそれのある患者の場合 600mg (1日1回) 200mg (1日1回) 100mg (1日1回) 単回投与、症状に応じて連日反復投与も可				12,728円/日	

※腎機能 CrCl > 50mL/min の成人において治療1クールにかかる薬剤費の目安

2026年5月更新Ver.3

作成：感染制御室（6511）、薬剤部医薬品情報管理室（6480）

本フロー問い合わせ先：感染制御室専従薬剤師99158

病院フォーミュラリ インフルエンザウイルス薬（**予防**、成人）

内服

可能

不可能

タミフル（カプセル/ドライシロップ）

⇒腎機能による用量調節が必要

5日間の内服が困難な場合：

ゾフルーザ錠20mg（仮採用、呼内科限定）

イナビル吸入粉末剤20mg

- **タミフル（カプセル/ドライシロップ）を第1選択薬とする**
- インフルエンザウイルス感染症患者に**接触後 48時間以内に投与する**
(接触後 48 経過後に投与を開始した場合における有効性を裏付けるデータは得られていない)
- 添付文書上でのタミフルの投与期間 7-10日間 は、家庭内発症などで連日の暴露を考慮しての投与期間である。病院内ではインフルエンザ発症後に隔離等の対策を行うことで、連続した暴露はなくなると考えられるので**投与期間は 5日間 とする**
- 予防投与による効果は70-80%程度とされており、発症を完全に抑えることはできない

【参考】

商品名	一般名	1回量（投与間隔）					総薬剤費 （※）
		CrCl > 50mL/min	CrCl 30~50mL/min	CrCl 10~30mL/min	CrCl <10mL/min	血液透析	
タミフル カプセル75	オセルタミビル	75mg (1 Cp) (1日1回) 5日分		75mg (1 Cp) (1日1回 隔日) 3回分	75mg (1 Cp) (1日1回) 単回投与		861.5円
タミフル ドライシロップ 3%							1,287.5円
イナビル 吸入粉末剤20mg	ラニナミビル	40mg（単回吸入）					2,969.8円
ゾフルーザ錠 20mg	バロキサビル	80kg未満：2錠（1日1回）		単回経口投与			4,877.6円
		80kg以上：4錠（1日1回）		単回経口投与			9,755.2円

※成人において予防1クールにかかる薬剤費の目安